

コレクションハブ

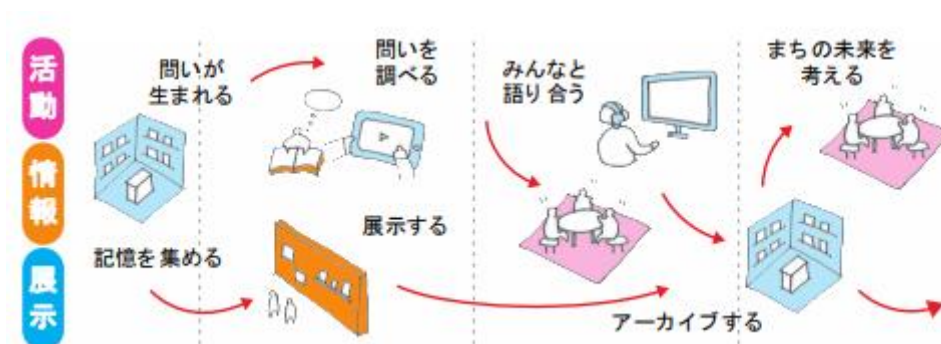
1. コレクションハブの定義と導入する目的・効果

複合施設におけるコレクションとは、図書館の書籍・新聞・雑誌や博物館の資料、文書・記録資料に加え、視聴覚資料やデジタル資料、ヒト・モノ・コト・場所に関する情報資源、市民や複合施設の利用者等から寄贈を受けたり借用したりする地域特有の資料など、複合施設で取り扱う資料・情報資源の総称である。

コレクションハブとは、複合施設の様々な機能とコレクションを一体的に配置することで、複合施設が持つ多面的な機能を融合させた空間のことであり、基本計画において掲げる「機能の融合による新たな価値創造」を象徴する空間である。

利用者がゆったりと楽しみながら各機能が融合した展示を観覧したり情報発信を受け取ったりすることができる空間とし、他機能へつなぐハブとしての役割を担うとともに、より深い理解や学び、交流を生む場を作ることを目的として設置する。

コレクションハブの目的イメージ



2. 基本的事項

- (1) コレクションハブは、複合施設の機能融合を示す拠点として、テーマ配架や市民活動等の各機能とコレクションを一体的に配置すること。また、複合施設内に複数分散して設置すること。
- (2) コレクションハブは、その展示及び情報発信を通して、利用者の学習や交流、複合施設内の諸機能への積極的な参画などの活動に連鎖的につながる機能を持つこと。
- (3) コレクションハブの展示内容は、企画運営会議において議論のうえで企画するとともに、市民との協働によって定期的に更新し、市民のアイデアや地域の情報、地域の多様性や魅力を反映するものとする。

3. 主な構成

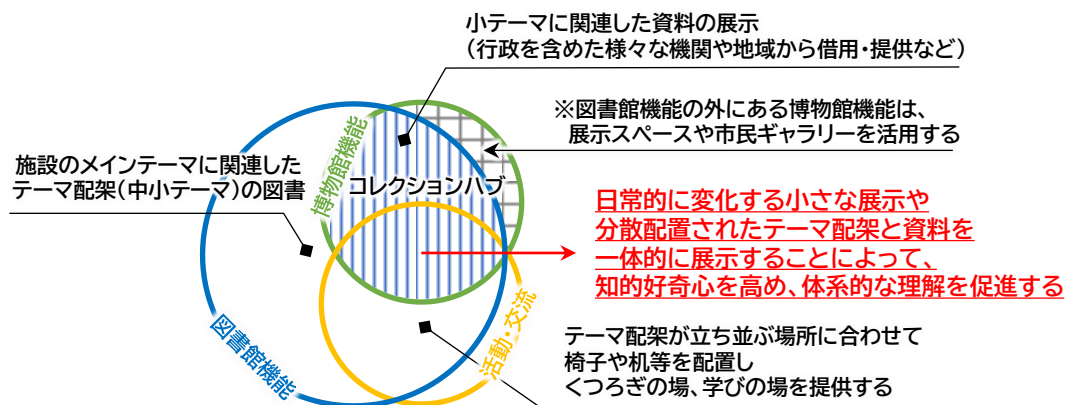
SPC は、次の(1)～(3)のうち、いずれかの要素を含む空間をコレクションハブとして設置し、適宜更新をすること。(1)や(2)の空間において、(3)を満たすような空間の提案も可能とする。

なお、いずれの要素を含む場合についても、設置する内容や数、場所については、提案を基に企画運営会議における協議を踏まえて、案を提出し、市の承認を得ること。また、コレクションハブの制作及び更新にあたっては、市と協力するとともに、展示室において博物館の収蔵資料を中心に有料展示を開催することから、棲み分けに留意すること。

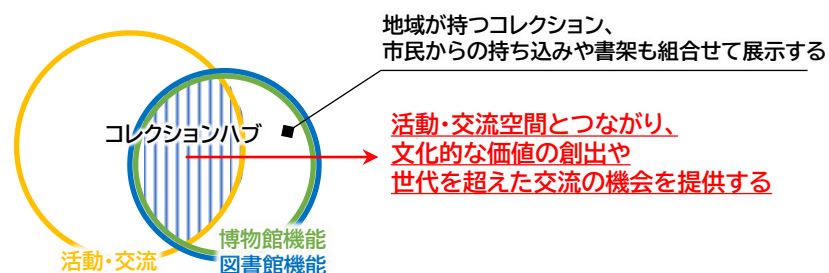
- (1) 図書館機能(テーマ配架)と融合したコレクションの展示
- (2) 施設内外の企画やプログラムと融合したコレクションの展示
 - 1) 施設内の活動や企画等とコレクションの融合
 - 2) 施設外の地域活動や市民活動とコレクションの融合
- (3) 施設のメインテーマやこれまでの取組・活動を知る展示
 - 1) メインテーマを表現するコレクションの展示
 - 2) 施設内のこれまでの取組・活動を知ることのできる展示

コレクションハブの配置・構成のイメージ(例)

- (1) 図書館機能(テーマ配架)と融合したコレクションの展示と
- (3) 施設のメインテーマやこれまでの取組・活動を知る展示を組み合わせたイメージ



- (2) 施設内外の企画やプログラムと融合したコレクションの展示のイメージ



(1) 図書館機能(テーマ配架)と融合したコレクションの展示

テーマ配架に合わせて、コレクションを一体的に配置し、特定のテーマに関連する情報をまとめて収集できる空間を設置する。展示方法としては提案に委ねる(収蔵品等の実物を展示する方法や、新たにコレクションハブ用の展示を制作する方法など)。

テーマ配架に紐づくコレクションハブの更新の考え方については、別紙5「テーマ配架」の「4. テーマの更新」を参照し、一体的に配置されているテーマ配架とともに見直し、必要に応じて全面的に又は部分的に更新すること。

(2) 施設内外の企画やプログラムと融合したコレクションの展示

コレクションハブは、複合施設の内外で行われる様々な活動と複合施設が有するコレクションをつなぐ空間である。施設内外の活動について情報を発信するとともに、市民や利用者が自身の活動内容や学びを発信できるような機能を持つこと。

(2)について、複合施設内の企画・プログラム及び地域内の活動の情報は、常に最新の状態を保つこと。また、それらの情報と一体で配置するコレクションについても、適宜(年に1回以上)更新すること。

1) 施設内の活動や企画等とコレクションの融合

コレクションハブにて複合施設内で行われている活動や企画の内容を発信するとともに、関連するコレクションにアクセスできるようにすること。例えば、リビングラボでの活動内容や複合施設内の体験プログラム、企画展示に関連した蔵書や市民交流・活動で生まれた創作物の紹介をすることなどを想定する。

また、複合施設内の活動や企画に参加した利用者が活動・企画を通して生まれた学びについて、利用者が記録し、発信できるような機能を設けること。

2) 施設外の地域活動や市民活動とコレクションの融合

コレクションハブにて地域活動や市民活動の内容を発信すること。そして、市民交流・活動で生まれた創作物や活動記録を写真や資料、電子データ等のコレクションとして保管していくこと。

また、地域活動や市民活動に関連するコレクションにアクセスできるようにすること。例えば、市内の文化施設等での活動を紹介し、関連する書籍や収蔵品等を紹介すること。

また、地域活動や市民活動の情報を知った利用者や、関連する情報等を通して生まれた学びについて、利用者が記録し、発信できるような機能を設けること。

(3) 施設のメインテーマやこれまでの活動を知る展示

1) メインテーマを表現するコレクションの展示

全体のメインテーマを訴求し、施設全体の統一感を示すコレクションを展示すること。

2) 施設内のこれまでの取組・活動を知ることのできる展示

利用者が新たな気付きや学びを得られるよう、複合施設の各機能におけるこれまでの取組・活動を知ることのできる機能を有すること。

4. 空間のあり方

(1) 施設内の配置の考え方

コレクションハブは、機能間の融合を象徴した空間であるため、独立した空間に整備するのではなく、各階に1つ以上、複合施設内の各所に分散して配置すること。空間の大小や合計面積等は提案に委ねるものとする。

(2) デジタル技術の活用

多くの利用者にとってわかりやすく、積極的に情報収集や交流をしたくなるような、魅力的な空間とするため、デジタル技術も活用すること。例えば、インタラクティブなディスプレイやデジタルガイド等を活用し、利用者が情報をより深く探索できる手段を提供すること。展示室との棲み分けを意識しつつ、デジタルアーカイブの活用等を通して、複合施設のコレクションに触れ、学びを深められるコンテンツを提供すること。

(3) 多様な空間設計

エントランスやカフェ等の近くに配置する場合など、場所によっては、ソファやクッションなどを用いてリラックスできる空間を作り出し、自然と人が集まりたくなるような雰囲気を演出し、各機能へつなぐハブとしての役割を意識すること。

また、コレクションハブの性質上、運営期間を通して「機能の融合による新たな価値創造」を象徴する空間として維持しつつ、各機能の変化と共に常に更新する必要がある空間である。そのため、多様な展示がなじむような可変性のある空間とすること。

なお、「人の集まりやすさ」については、リビングラボや特定の活動に適したスタジオ、多目的スペースとの棲み分けに留意すること。

5. 企画・運営にあたっての留意点

コレクションハブの企画・運営にあたっては、職員(学芸員)と密に連携するとともに、市民・利用者等がコレクションハブの内容作成に関わったり、市民等の意見を取り入れたりするような仕組みを作り運用すること。